



## あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会  
平成30年3月1日 第3号 委員長・穂澤正夫 編集・北條昭吾

### 八楡神社社殿が長野市の「文化財に指定」との通知が届く！



浅川の薬山の巨岩にぶら下がるように懸崖に建てられた、ブランド薬師の愛称で親しまれている「八楡神社社殿」が長野市文化財に指定するとの通知が、長野市教育委員会文化財課から文化財指定申請者の八楡神社総代・松木善昭さんに2月9日届きました。

10年前の平成18年地元の「ブランド八楡公園活性化委員会」が八楡神社社殿の修復と文化財指定を陳情し、長野市文化財審議委員会で協議が行われてきました。

昨年10月の市と地元が話し合う「みどりの移動市長室」でも、近く地元が保存会の立ち上げを報告、神社周辺の公園整備を要望しました。

### 「浅川ダム周辺利活用懇談会」定期開催で住自協が浅川改良事務所と協議！



浅川住民自治協議会・同まちづくり計画推進委員会・市浅川支所と浅川ダムとダム周辺を管轄する県長野建設事務所・浅川改良事務所が、浅川周辺の利活用について意見を交換する「浅川ダム周辺利活用懇談会」を立ち上げることを協議しました。

1月23日に開催された会議には、浅川住自協から小林会長、小川事務局長、原田活性化推進員、穂澤まちづくり計画推進委員長、横山浅川支所長が、県浅川改良事務所から、吉川達也所長・川上学次長など4名が出席しました。

吉川所長から「浅川ダム周辺及び周辺の利活用をめざし、意見を出し調整をしていく、過去1年間の事業をふまえ平成30年度の事業内容を話し合いたい」との挨拶がありました。

浅川改良事務所からは、平成29年度のダム関連事業・ダム関連イベントなどの報告がありました。

平成30年度の実施計画案では「ダムでこいのぼり掲揚」「ダム祭り」「ダム見学」「浅川地区農産物販売」「浅川チャレンジ」「レスキュー訓練」などが提起されました。

浅川住自協からは「貯水池（浅川ダムの流路脇の土地）へのフジバカマの植栽」「浅川ダム周辺のウォーキングマップ作成」「ダム展望広場対岸の斜面への花桃の植栽」「ブランド薬師入口から平原橋間の道路脇の木の伐採」「ループ橋脇のホタルの看板設置」等を要望、地元と県浅川改良事務所は3ヶ月に2回位のペースで懇談し、浅川ダム周辺の利活用を進める提案がありました。

第2回「浅川ダム周辺利活用懇談会」は2月27日（火）10時30分より浅川住自協で開催します。

## 「あさかわの里山と森を守る会」10名が薪の結束作業へ参加！



2月13日「あさかわの里山と森を守る会（守る会）笠原清一会長」では、昨年につき「二十一世紀の生活を考える会（考える会）」と一緒に薪の結束作業に10名が参加しました。



午後1時、中曽根の飯綱炭工房の小屋では40cmに切られた薪が積まれていて、針金の輪に薪を束ねます。薪を束ねる作業は小人数では大変難儀ですが、当日は10人が結束作業に取り掛かり、合計184束を作りました。この薪は販売されるとの事です。

また「守る会」では、伐採後の長さ120cm位の材木を運搬する車・手動ダンプを購入しました。軽トラで運べ、作業能力は600Kgで、44万円余りで購入しました。